

鬼北町立広見中学校

道徳通信

道徳主任 酒井 智有

NO. 65

令和8年5月13日発行

よりよく生きる

2年生道徳授業の紹介「初心」（読み物資料）

【資料のあらすじ】

父親の影響で柔道を始めた主人公である井上康生さんは、若い頃からその名が知られていた。世界一も確実視されていたが、ある大会での初戦敗退を機に大きな挫折を味わう。苦悩する最中、追い打ちを掛けるように最愛の母が亡くなる。しかし、亡き母からの言葉を支えに、粘り強い練習によって困難を乗り越え、目標を達成していく井上康生さん。シドニーオリンピックでは金メダルを獲得し、表彰台で母の遺影を高々と掲げた。



康生選手が初心に戻ることを大切にしたのはなぜだろう？（生徒の意見）

- ・今まで、勝つことばかりを考えていたから、柔道が本当に好きだという気持ち、柔道をなぜやっているのかを振り返るため。
- ・今、持っている緊張感や焦りをリセットさせて、初心の気持ちを取り戻してやり方を変えてみようと思ったから。
- ・強さや勝つことにとらわれすぎていたから、楽しめる気持ちに戻ろうとした。
- ・今は、よくない調子だから、世界一はひとまず置いて、地道に努力しようと考えた。
- ・初心のときのような、わくわくする気持ちや高い興味を持っていた気持ちを大切にしたいと思ったから。
- ・「世界一になりたい」という思いが、一番大切だと気付いたから。

より高い目標を達成するために大切なことは？（道徳ノートより）

- ・最初は、何度もやり直したり、基礎を固めてできるまでやり続けることが大切だと思っていたけれど、周りの人の意見を聞いていると、1回競技から離れてみたり、今できない課題を置いて、休んだり振り返ったりしてみることも大切だと思いました。
- ・まずは冷静になります。心と体は通じているというので、弱音を吐いてばかりやネガティブ思考では、うまくいかないと思います。だから、冷静になって自己分析をします。自分の弱いところを見付けたり、逆に自分のよいところを見付けたりして、自分ができる最大限の努力をします。
- ・試合で負けたりしたら、敗れた原因を考えて、考えすぎてしんどくなったら、初心に戻って頑張ったらよいと思います。しかし、全て初心に戻るのではなく、しっかり負けた原因を考えることも大切だと思いました。

物事を始めたときの思いが自分の信念となって、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になることは、よくあることだと思います。より高い目標に向けて、着実にやり遂げる力を付けていくには、私たちはどのような心持ちで物事に取り組んでいけばよいのか、これからも考えていきたいなと感じた資料となりました。